

令和4年度

学校自己評価

及び

学校関係者評価報告書

学校法人つくば文化学園
つくば国際ペット専門学校

(1) 教育理念・目標

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
学校の理念・目的は定められているか	4	4
理念・目的・育成人材像・特色などが生徒・保護者に周知されているか	4	4
各コースの教育目標・育成人材像は業界や社会のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
課題 教育理念や学校の目的や学校の特色の周知は機会、浸透度とも達成されている。行事などの際に継続して周知を行う。		
今後の改善方策 口頭での告知や掲示物、印刷物を有効に活用し周知、浸透を図るほか、入学を検討する高校生への進路ガイダンス等でもわかりやすく紹介したり、保護者にも周知し学校への理解を深めて行く。		
学校関係者評価委員会での意見 教育理念や目的は、分かりやすい言葉で学生に説明し、在学中はもちろん、卒業後も意識するように指導したい。		
特記事項 なし		

(2) 学校運営

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
課題 学校運営は適切である。常に社会情勢に適応可能な事業計画の策定が必要である。		
今後の改善方策 より細かい事業計画の策定により業界や地域社会、高等学校との関係強化をし、信頼される学校として引き続き選ばれる学校作りを目指す。		
学校関係者評価委員会での意見 社会情勢の把握と業界との情報共有や地域社会との良好な関係作りが不可避である。常に安定した学校運営が大前提である。		
特記事項 なし		

(3) 教育活動

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
コース等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
実践的な職業教育のためのカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	4	4
インターンシップなどの実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け要件を備えた教員を確保しているか	4	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4
課題 インターンシップや企業内研修などが実施困難な場合の対策作りが急務である。		
今後の改善方策 教員間のミーティングや会議の開催などでオンライン授業やリモートの利用の情報や経験を共有したい。また、教員間の授業視察を通してレベルアップに取り組みたい。		
学校関係者評価委員会での意見 緊急時に対応可能なシラバス等の作成をすすめたい。		
特記事項 なし		

(4) 学修成果

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
就職率の目標を設定しているか	4	4
就職率の向上が図られているか	4	4
退学率の低減が図られているか	3	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
卒業生のキャリア形成の状況を把握し教育活動の改善に活用されているか	4	4
課題 体調不良欠席の延長で学校生活不適應や登校不能に陥る学生が見受けられるため早めの対応が必要である。		
今後の改善方策 出席不能者または欠席が多い生徒は、担任、コース主任、生活指導担当、学校幹部、保護者などが連携して情報を共有する。特に家庭の支援が不可欠である。		

<p>学校関係者評価委員会での意見 保護者との日常的なコミュニケーションルートなど日常的なパイプ作りをして行きたい。</p>
<p>特記事項 なし</p>

(5) 学生支援

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
保護者と適切に連携しているか	4	4
卒業生への支援体制はあるか	4	4
<p>課題 学生寮での体調不良などに対応するために、持病や連絡先の明確化を進めているが万全を期すための組織体制の構築や各家庭との連携が必要である。</p>		
<p>今後の改善方策 突発的な事例に対応できるよう、職員全体が情報共有の上、対応できる体制と指示系統を確立した。体調不良者に対応できるスペースを設けたい。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見 保護者とのコミュニケーションで体調管理や生活環境適応、個々の経済状態の把握ができるようにしておきたい。</p>		
<p>特記事項 なし</p>		

(6) 教育環境

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
学内以外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する体制は整備されているか	4	4
<p>課題 防災については、訓練等の実施が課題である。学校外の実習施設の確保を早急にすすめたい。</p>		
<p>今後の改善方策</p>		

<p>業界の各企業と連携して各事業所での実習ができるよう整備したい。また、事故に対応できる指導と理解度確認の仕組み作りに取り組む。</p>
<p>学校関係者評価委員会での意見 教育体制の整備は実情に即した箇所から随時取り組んでいくべきである。</p>
<p>特記事項 なし</p>

(7) 学生募集と受け入れ

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
学生募集活動は適正に行われているか	4	4
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金の設定は妥当か	4	4
オープンキャンパス等の開催時期・内容は適切か	4	4
定員の設定と定員充足率はどうか	4	4
<p>課題 高等学校とのより強いパイプ作りが効果を示しており、家庭にも十分理解してもらえるよう整備した。広報活動は印刷物、SNSなどが一体となり当校の特色や教育成果などを伝えたい。</p>		
<p>今後の改善方策 高校生と家族にできるだけたくさんの情報が提供できるよう、色々な場を設けたい。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見 国の政策や国家資格などの関係で伝達しなければならないポイントが変化している中で、時流に遅れることなく募集活動が滞らないよう進める。</p>		
<p>特記事項 なし</p>		

(8) 財務

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
<p>課題 財務状況は安定していて計画も適正である。 施設、設備の維持やメンテナンスを計画的に実施したい。</p>		

<p>今後の改善方策</p> <p>政策に同調し、各方面から信頼されるよう決められた情報公開を継続する。</p>
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>学生の日常の学習、学生募集活動に寄与する安定した財務状況が継続されている。施設・設備の整備や学生サポートを更に充実させる。</p>
<p>特記事項</p> <p>なし</p>

(9) 法令等の遵守

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
自己評価結果を公開しているか	4	4
<p>課題</p> <p>自己評価と学校関係者評価は、教員が中心となり実施することと、速やかな情報とりまとめと公開が行われている。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>法令等について全員が理解し、適切な認識が持てるよう、組織的に取り組み、教職員全員が共通の認識を持つ必要がある。緊急時対応のための知識修得が必要である。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>法令遵守と適正な運営を全教職員が取り組む必要がある。自己評価を継続的に行う事も重要である。</p>		
<p>特記事項</p> <p>なし</p>		